



特別  
千12  
3643  
191





田宮物語

拔萃

摘出也





田宮物語第一

清之家系圖之事

并頼直の決炮の事  
附安友帯刀諒畧と決炮と扱ゆる事



安友 人皇五十一代の帝

清和天皇十七代の後胤法皇府将軍隆興源  
義家右四代の孫徳川四郎義季十六代増大納言  
廣忠右一将右大臣正良大將軍源家康  
公の御子阿まきましくは弟一ハ女子ありて男平義純



当信昌の之とあり世は乃弟二六忠海之郎信康ハ  
才二六越前中納言秀康ハ才四六後一位大納言  
秀忠ハ才五八松平清康ハ忠吉ハ才六八武田  
信吉ハ才七八小糸お掬ハ才八八蒲生ハ  
輝ハ才九八越後お將忠輝  
ハ才十ハ尾張大納言兼忠ハ才十一紀伊大納言  
頼宣ハ才十二水戸中納言頼房ハ以上十二人の御  
連枝の内ハ信康ハ藏田内大臣信長公の養子と  
成給ハ秀康ハ越前家の御先祖忠吉ハ  
左衛門秀吉公の御子と成給ハ信吉ハ武田信玄  
の御猶子と成給ハ後ハ結城の御猶子と成給ハ  
宰相殿是也 又尾州兼忠ハ才九  
名石川平太左衛門治純ハ才五  
名成瀬隼人ハ才四名頼房ハ才三  
名尾州名護屋ハ才二名頼宣ハ才一  
名左衛門ハ才一十名石川治純ハ才  
五名頼宣ハ才五名石川治純ハ才  
二名頼宣ハ才二名執権殿ハ才一  
名中ハ才一名紀伊頼宣ハ才一  
名忠康ハ才一名石川治純ハ才一  
名石川治純ハ才一

後清康但  
忠吉ハ才五八

弟九ハ越後お將忠輝

頼宣ハ才十二水戸中納言頼房ハ以上十二人の御

連枝の内ハ信康ハ藏田内大臣信長公の養子と

成給ハ秀康ハ越前家の御先祖忠吉ハ

左衛門秀吉公の御子と成給ハ信吉ハ武田信玄

の御猶子と成給ハ後ハ結城の御猶子と成給ハ

宰相殿是也 又尾州兼忠ハ才九

名石川平太左衛門治純ハ才五

名成瀬隼人ハ才四名頼房ハ才三

名尾州名護屋ハ才二名頼宣ハ才一

名左衛門ハ才一十名石川治純ハ才

五名頼宣ハ才五名石川治純ハ才

二名頼宣ハ才二名執権殿ハ才一

名中ハ才一名紀伊頼宣ハ才一

名忠康ハ才一名石川治純ハ才一

名石川治純ハ才一

名石川治純ハ才一



せほふかた清おとしといひせ兵清知りも若り換炮の敷  
も立る候おくこころせほふかた損言ひの才此所事  
ちるこハ知り言のおきいとあんと只百九十九清炮  
おのかりとふ事代妙高子思ひて鶴子清おとし候

安後帯刀ハ玉中の政事や中への仕立不事お返し  
し四言集人合物言とぬきお誤し玉清炮蘇の以俣志  
とくこ江戸表も若る之改を候

異日漏板書し

一 世之二

四言集人合改易事

四言集人合改易事

并原八郎外戚母方の苗字とあり  
仮り田原八平と云

田原八平 堀原左左馬守堀原左左ハ世敷及し作範初例者也

田原 四言坊在中坊在中空明

源八平死後三世まで母記おせしを名を付人候て坊と云又右中

年々つ婦子記之註  
日二男源八平十六年時  
源八平妻成八長我次  
源八平補元親が娘也

一 世之五







丸龜城下崎六幡前 御付場を構ふる

并 田宮右左衛門 堀原左衛門と云ふ事

附 少右衛門右衛門と云ふ事

一 田宮右左衛門 右衛門と云ふ事

并 少右衛門右衛門と云ふ事

附 再い江戸へ出づ

かき 御付も在り 少右衛門 右衛門 中山左

水戸家へ 御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事

御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事

城に在り 御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事

少右衛門と云ふ事 御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事

御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事

御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事

御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事

御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事

御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事

御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事

御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事

御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事

御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事

御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事 御付の御付と云ふ事







あつゝいねり心さうりふたふたをいふ思ふ所  
それより世に任所一風言月暮る心と遊り一は世  
を他と多くいふといふは縁かたかひと命をいふ  
後つゞくの字をいふと縁くは保之成の年以下に縁く  
けるや思ふ善前ふふ東嶽山な中つのかおし小竹の  
さるおまをいふに縁く縁付の死する人ふふ善前ふふ  
祈願をいふふ其のさうしゆとや又善前ふふ葉は  
わさるるをいふ一々の縁ふふ世に善前ふふ  
感涙はとらふ心とをいふとらふりしは善前ふふ

田高和清才十たを尾







